

【重要】

【物件エントリーシート記入前に熟読すること】

※本シートは、長野グリーン化住宅全体の予定物件数を把握することを主旨としたものであり、補助金の受領を約束するものではありません。今後提出していただく「補助金交付申請」「実績報告」等、適正なステップ・書類等の申請により確定いたします。
※「仕様確認」にて予定物件が長野グリーン化住宅の基準を満たしているかをご確認いただき、設計者の署名・捺印をしてください。
※正確な予定棟数を把握する為、確定物件のみのご提出をしてください。確認の為「交付申請を行う予定であることの誓約」に建築主と補助事業者の署名・捺印が必要です。

※シート提出に関して、棟数配分ルールに基づき提出願います。
※シート提出に関して、契約後の作業とし、基本的には、請負契約・長野グリーン化住宅補助金活用を前提とする事をご理解ください。(契約書の写しを添付)
※エントリー頂いた物件について、令和元年12月を期限に次のステップに進捗しない場合は、申し込み棟数等の状況により事務局より事前相談の上、エントリー枠を他物件に移行する場合があります。
※エントリー頂いた物件をやむをえずキャンセルする場合は、速やかに事務局に連絡をしていただき、自社他物件への移行をしないものとします。

仕様確認

※基準を満たしていれば□にチェック☑

◆ 省エネルギー技術(施工・設計)に関する講習 ----- □
住宅の省エネルギー技術に関する講習の修了者(H24以降)又は、本年度受講予定者が当該住宅に関わっていること。

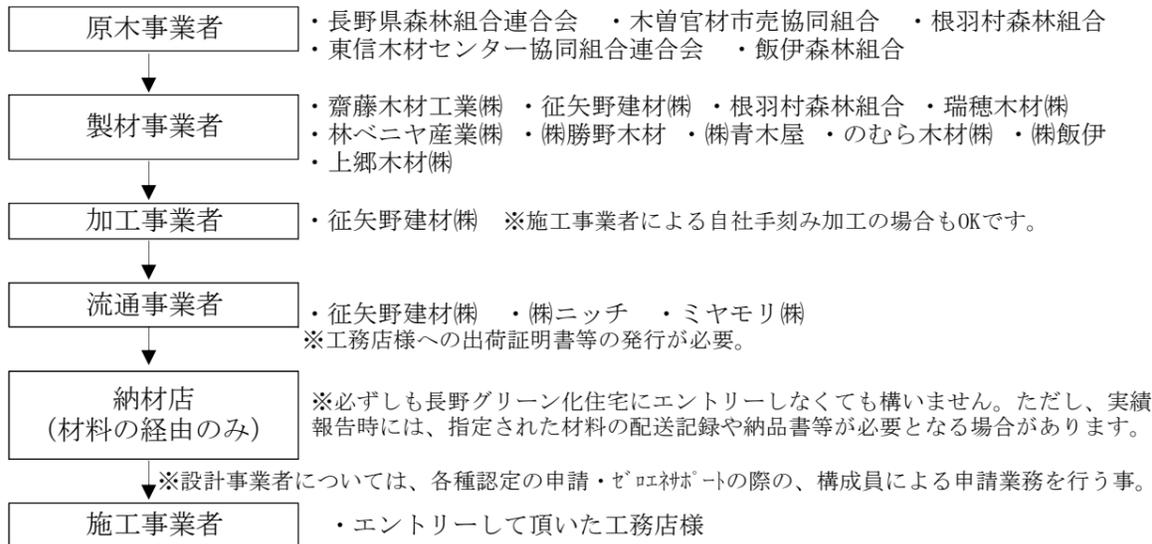
◆ 住宅の種類に応じた要件をみたすこと。 ----- □
補助金交付申請を行う住宅の種類を選択☑してください。

- 長寿命型(長期優良住宅) … 長期優良住宅認定書の取得
□ 高度省エネ型(認定低炭素・性能向上計画認定)住宅(※どちらかに○印) … 各住宅の認定書の取得
□ 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) … グループより提案したモデル住宅の削減率(R・R0)をクリアすること。
□ タイプ『H30長野グリーン化住宅ゼロ3』・・・UA値0.45W/m²・K R0=25%(省エネ地域区分3地域)
□ タイプ『H30長野グリーン化住宅ゼロ4』・・・UA値0.55W/m²・K R0=25%(省エネ地域区分4地域)

◆ 長野県の地球温暖化対策条例を遵守する(「環境エネルギー性能」「自然エネルギー導入」の検討) ----- □
・環境エネルギーを検討する際、「平成28年の省エネルギー基準」の断熱性能基準を遵守
・エネルギー指標の提出 CASBEE-新築、CASBEE戸建-新築、QPEX、エネルギーパス
省エネ判定プログラム、一次エネルギー性能の判定プログラム、のいずれかを採用

◆ 県産材の利用促進(信州木材認証製品) ----- □
A: 主要構造部(柱・梁・桁・土台)の過半(50%以上)の材積に地域材を活用する。(地域材加算に該当)但し、主要構造部の過半について、間柱・構造用合板(床・壁・屋根問わず)にて補足することが出来る。(地域材加算なし)
地域材加算(最大20万円)活用 する□ ・ しない□

B: 上記県産材の指定量については、「長野グリーン化住宅」各構成員を経由した商流とすること。 ----- □



◆ 和の住まいの要素を取り入れる ----- □
従来の住宅のデザイン・素材・納まりにとらわれず、地域の伝統文化や、地域特有の素材、和の要素をしつらえる取り組みを行うこと。(例:素材(畳・和瓦・襖・障子・和紙等)や空間(縁側・書院・飾り棚等)として「和」の要素を取り入れる。)

◆ 地域型住宅グリーン化事業をはじめとする「長野グリーン化住宅」の販促活動を行う。 ----- □
協会のHPや自社HP・SNS等を活用し、工事進捗(基礎・上棟・内外下地・竣工)の公開や見学会の案内をして、「長野グリーン化住宅」の販促活動を行う。見学会開催を必須とし、報告書(写真添付)や完成写真(内・外観)の提出が必要。

◆ 住宅瑕疵担保責任保険利用による、一般社団法人JBN又は長野県建設労働組合連合会の取り扱う特定住宅を活用すること。 ----- □
「JBN認定品質住宅」による4保険法人、又は建設労連にて取り扱う「住宅保証機構」「住宅あんしん保証」の2保険法人による瑕疵保険を活用する。

◆ 統一された現場管理、工事記録シートの活用 ----- □
彰国社から出版されている「木造住宅工事管理の実務」を活用し、オリジナル工事記録書(エクセル)と現場検査チェックシート(ワード)による工事管理を行う。

◆ 長期にわたる住宅メンテナンス体制の実施 ----- □
「長野グリーン化住宅」で指定する維持管理計画書を活用し、一般社団法人JBNまたは全国建設労働組合連合会が整備する住宅履歴システムを活用すること。

※長期優良住宅を採用の場合は、認定申請4面の2「建築後の住宅の維持保全の方法及び期間」維持保全の方法に記載のこと 【記入例】一般社団法人JBNの住宅履歴システムによる30年間の維持管理を実施。
引渡し時に「住まいの管理手帳」を活用し、住まいの点検やお手入れの方法を説明してお渡しする。
「長野グリーン化事業維持保全管理システム」の活用をする。(引渡し時にお施主様に説明をする事)
※当会にて、上記維持保全の後追いをを行い、30年間の内、お施主様に直接計8回の実施確認を行う。

〈設計者の署名・捺印〉
エントリー物件が「R1長野グリーン化住宅」の基準を満たしていることを確認しました。

会社名 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_ ㊟

交付申請を行う予定であることの誓約

「平成31年度地域型住宅グリーン化事業」と「R1長野グリーン化住宅」のルールに基づき、準備が整い次第、「補助金交付申請」を行います。

令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 建築主 \_\_\_\_\_ ㊟

会社名 \_\_\_\_\_ 代表者名 \_\_\_\_\_ ㊟

〈申請事業者及びエントリー物件概要〉 ※代表者印

Table with columns for business name, TEL, FAX, property name, construction site, and estimated start/end dates.

※事務局にて受付後、記載内容の確認をして、受理証をFAXにてご通知いたします。
※郵便事故等により書類が事務局に届かない場合もあることから、郵送手段は事業者様の責任においてご判断願います。